

03 Futures Session

先物セッション

資産を守る

先物戦略

P.S.相場を詠む

株式会社シンプレクス・インスティテュート代表取締役

伊藤 祐輔 氏

株式会社シンプレクス・インスティテュート代表取締役

伊藤祐輔

1976年早稲田大学理工学部数学科卒業、1983年同大学大学院理工学研究科後期課程修了。偏微分方程式論の研究活動の傍ら数学教育を続け、1989年ソロモン・ブラザーズ・アジア証券（現シティグループ証券）に入社。株式部長、株式デリバティブトレーダーとして10年間マーケットにかかわる。1999年インドスエズ・ダブリュ・アイ・カー証券(現クレディ・アグリコル証券会社)に移りトレーディングデスクの再構築を行い、2000年シンプレクス・インスティテュート代表取締役就任。2003年から現在まで名古屋商科大学大学院教授、2010年から2014年まで早稲田大学大学院ファイナンス研究センター非常勤講師、2015年から2020年まで多摩大学大学院客員教授を兼任。

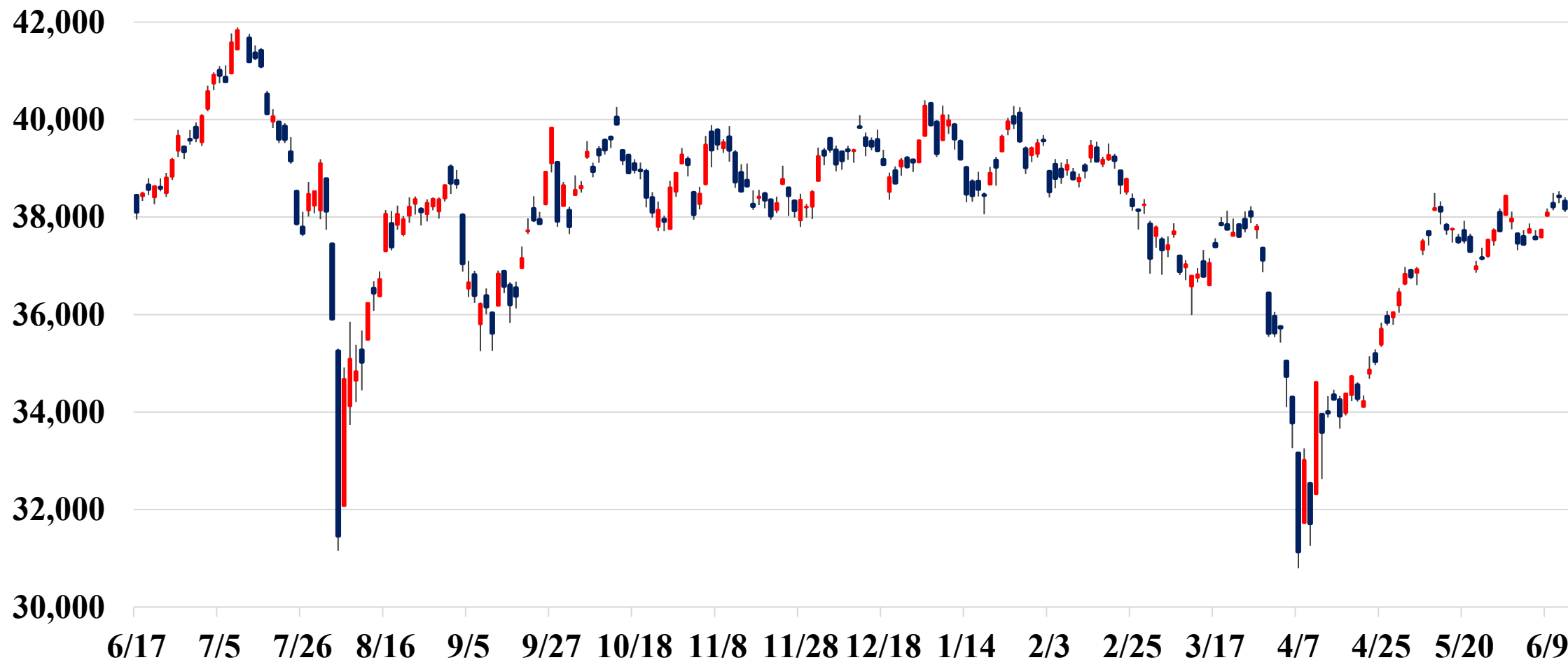


資産を守る先物戦略



過去 1年の相場

日経平均: 2024年6月17日～2025年6月13日



相場下落時の対処 = 先物でヘッジ

状況: 2025年3月27日, 株式を数銘柄保有, 相場は下降気味.

希望: 米国関税政策による下落リスクをヘッジ(回避・軽減)したい.

戦略: 株式時価総額に相当する日経micro 9枚を売り, 4月7日に買戻す.

銘柄			2025年3月27日終値		2025年4月7日終値		損益
コード	名称	株数	価格	持高	価格	持高	
6758	ソニー	300	3,862	1,158,600	3,009	902,700	-255,900
7267	ホンダ	700	1,456	1,019,200	1,205	843,500	-175,700
8031	三井物産	400	3,028	1,211,200	2,470	988,000	-223,200
	現物株合計			3,389,000		2,734,200	-654,800
	6月 日経micro	-9	37,410	-3,366,900	30,960	-2,786,400	580,500
	合計						-74,300

結果: 株式損失 654,800円の 88%を先物利益 580,500円でカバーできた.

先物でのヘッジの真骨頂

2025年6月13日の時点で、前ページの3銘柄をまだ保有していたら
2025年3月27日の時点と比べ、まだ損失を **13**万円ほど抱えている(下表)。

銘柄			2025年3月27日終値		2025年6月13日終値		損益
コード	名称	株数	価格	持高	価格	持高	
6758	ソニー	300	3,862	1,158,600	3,735	1,120,500	-38,100
7267	ホンダ	700	1,456	1,019,200	1,393.5	975,450	-43,750
8031	三井物産	400	3,028	1,211,200	2,905.5	1,162,200	-49,000
	現物株合計			3,389,000		3,258,150	-130,850

しかし、先物でヘッジし相場下落に対処すれば先物の実現利益が**58**万円ほどあるので、しばらくは気楽に相場を楽しめる。つまり、株を保有したまま下落相場で利益を生むことができるのが「**先物ヘッジの凄さ**」である。

先物でのヘッジのコツと注意点

(1)「相場下落が始まってしまった！ 出遅れた！」と考え何もしない。

→ 何も考えなくてもよいから「先物でヘッジ」はしましょう。

何かをした後悔よりも何もしなかった後悔の方が大きいもの。

(2)「もしここで先物でヘッジ(売って)して相場が上昇したらどうしよう？」

→ そのときは、黙って買い戻しましょう。

判断を間違えたと思うのなら、素直にさっさと訂正すること。

(3)「先物を買戻すのが早すぎた、また下落が始まってしまった！」

→ もう一度ヘッジしましょう。

先物・オプションの勉強法

何事も「**実力 = 知識 × 経験**」であることを踏まえれば

(1) まずは SBI証券主催の「先物・オプション取引講座」を受講する。

ビギナーコース: 毎月の第 3 水曜日 19 時～

アドバンスドコース: 3, 6, 9, 12 月の第 1 水曜日 19 時～

注) 終了時刻は受講者みなさんの「質問と川柳の数」で決まる。

(2) 上記セミナーで学んだ取引手法を実際に少額から初めてみる。

(3) 同時に「ニュース」を読みこなす訓練をする。

伊藤先生の先物・オプション取引講座'25

毎月開催

受講料 無料
オンラインセミナー

2+2=8

伊藤先生の 先物・オプション取引講座

ビギナーコース

アドバンストコース※3ヶ月に1回



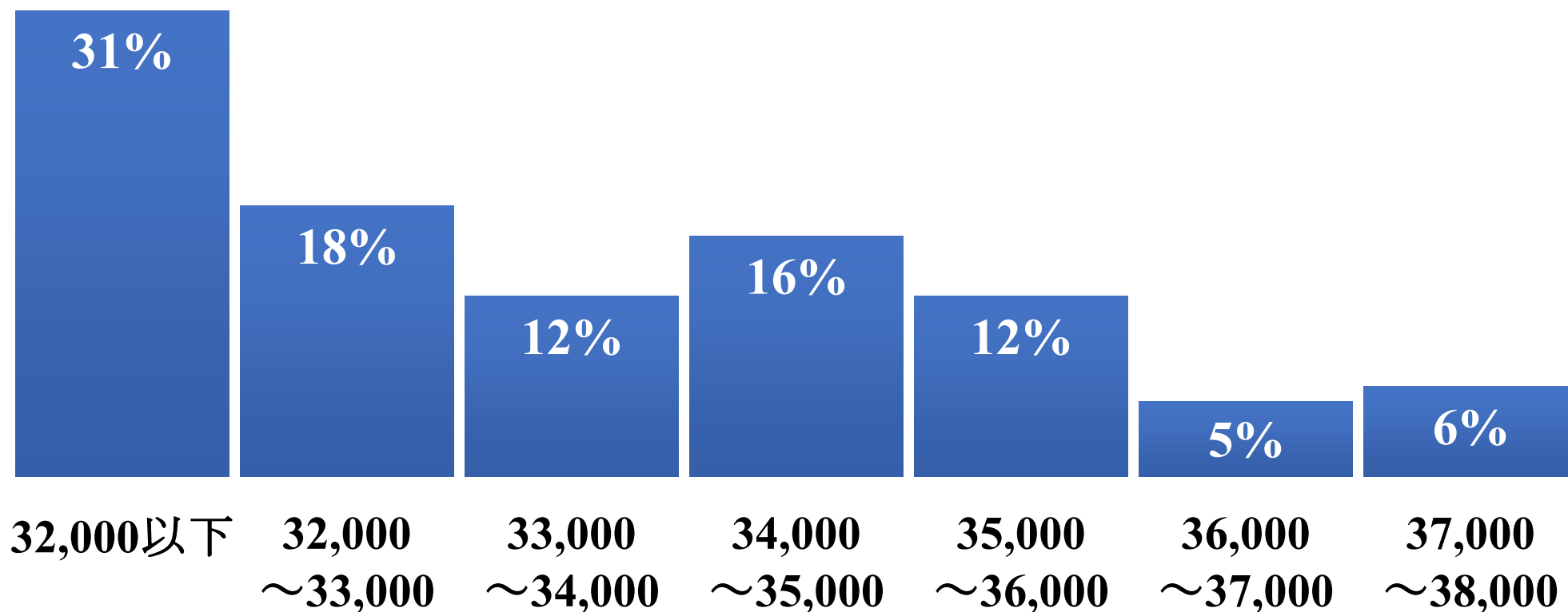


相場を「読む」

Pay

安値：昨年 12月 セミナー・アンケート

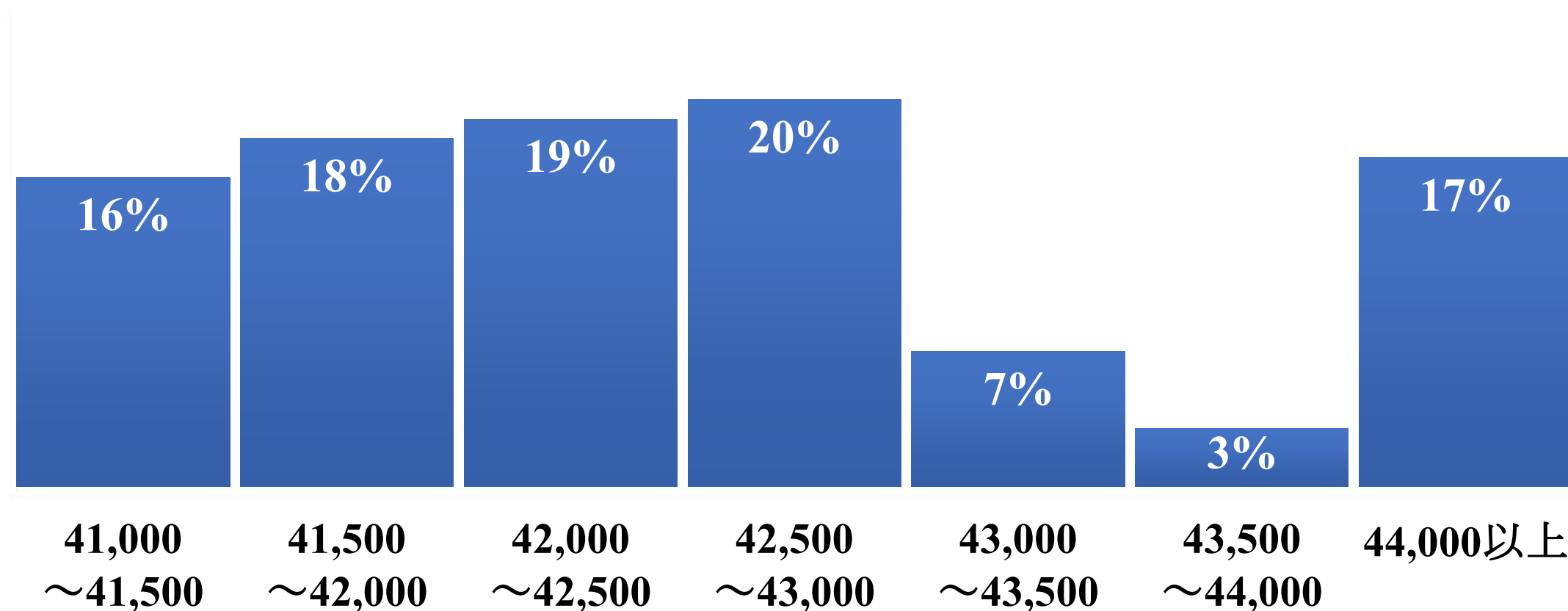
2024年12月18日時点での 2025年日経平均安値予想



4月7日に **31,136.58**円をつけ, 投票者の 31%がこれを予想した.

高値: 昨年 12月 セミナー・アンケート

2024年12月18日時点での 2025年日経平均高値予想



1月7日に **40,288.80**円をつけたが、現時点では 41,000円を超えていない。

本日のアンケート：年末までの安値

2025年12月30日（大納会）までの日経平均安値をいくらと予想しますか？

- (1) 31,000円以下
- (2) 31,000～32,000円
- (3) 32,000～33,000円
- (4) 33,000～34,000円
- (5) 34,000～35,000円
- (6) 35,000～36,000円
- (7) 36,000～37,000円
- (8) 37,000～38,000円

本日のアンケート：年末までの高値

2025年12月30日（大納会）までの日経平均高値をいくらと予想しますか？

- (1) 37,000～38,000円
- (2) 38,000～39,000円
- (3) 39,000～40,000円
- (4) 40,000～41,000円
- (5) 41,000～42,000円
- (6) 42,000～43,000円
- (7) 43,000～44,000円
- (8) 44,000円以上



相場を「詠む」

©

✓

Pay

Lightbulb

講師プロフィール

伊藤祐輔（いとうゆうすけ）

株式会社シンプレクス・インスティテュート 代表取締役

1976年早稲田大学理工学部数学科卒業, 1983年同大学大学院理工学研究科後期課程修了。

偏微分方程式論の研究活動のかたわら数学教育を続ける。

1989年ソロモン・ブラザーズ・アジア証券(現シティグループ証券)に入社。株式部長, 株式デリバティブトレーダーとして10年間マーケットにかかわる。

1999年インドスエズ・ダブリュ・アイ・カー証券(現カリヨン証券)に移りトレーディングデスクの再構築を行い
2000年(株)シンプレクス・インスティテュート代表取締役就任。

免責事項

当資料の内容は、投資判断の参考として投資一般に関する情報提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終的な決定は、ご自身の判断と責任においてなさるようお願い致します。株式会社シンプレクス・インスティテュートでは、当該情報に基づいて被ったいかなる損害についても、一切の責任を負うものではありません。

無断転載を禁ず

当資料の全部、または一部を無断で複写・複製・転載、および磁気・高記録媒体に入力することなどは、著作権法上の例外を除き禁じられています。

株式会社シンプレクス・インスティテュート

〒105-6223 東京都港区愛宕2-5-1

愛宕グリーンヒルズMORIタワー23階

URL: <http://www.simplexinst.com>

E-mail: info@simplexinst.com

ご注意事項

- 本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客さまが損害を被ったとしても当社、および情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製、または販売等を行うことは固く禁じます。
- 必要証拠金額は当社証拠金(発注済の注文等を加味した証拠金×100%)－ネット・オプション価値(Net Option Value)の総額となります。
- 当社証拠金、およびネット・オプション価値(Net Option Value)の総額は発注・約定ごとに再計算されます。
- 証拠金に対する掛け目は、指数・有価証券価格の変動状況などを考慮のうえ、与信管理の観点から、当社の独自の判断により一律、またはお客さまごとに変更することがあります。
- 「HYPER先物コース」選択時の取引における建玉保有期限は原則新規建てしたセッションに限定されます。なお、各種設定においてセッション跨ぎ設定を「あり」とした場合には、プレクローリング開始時点の証拠金維持率(お客さま毎の証拠金掛目およびロスカット率設定に関わらず必要証拠金額は証拠金×100%で計算)が100%を上回っていれば、翌セッションに建玉を持ち越せます。「HYPER先物コース」選択時は必要証拠金額は証拠金×50%～90%の範囲で任意に設定が可能であり、また、自動的に決済を行う「ロスカット」機能が働く取引となります。
- 先物・オプションの証拠金については日本証券クリアリング機構のWEBサイトをご覧ください。
- 指数先物の価格は、対象とする指数の変動等により上下しますので、これにより損失を被ることがあります。市場価格が予想とは反対の方向に変化したときには、比較的短期間のうちに証拠金の大部分、またはそのすべてを失うこともあります。その損失は証拠金の額だけに限定されません。また、指数先物取引は、少額の証拠金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失を被る危険性を有しています。
- 日経平均VI先物取引は、一般的な先物取引のリスクに加え、以下のような日経平均VIの変動の特性上、日経平均VI先物取引の売方には特有のリスクが存在し、その損失は株価指数先物取引と比較して非常に大きくなる可能性があります。資産・経験が十分でないお客さまが日経平均VI先物取引を行う際には、売建てを避けてください。

ご注意事項

- 日経平均VIは、相場の下落時に急上昇するという特徴があります。
 - 日経平均VIは、急上昇した後に数値が一定のレンジ(20～30程度)に回帰するという特徴を持っています。
- 日経平均VIは、短期間で急激に数値が変動するため、リアルタイムで価格情報を入手できない環境での取引は推奨されません。
- 指数オプションの価格は、対象とする指数の変動等により上下しますので、これにより損失を被ることがあります。なお、オプションを行使できる期間には制限がありますので留意が必要です。買方が期日までに権利行使又は転売を行わない場合には、権利は消滅します。この場合、買方は投資資金の全額を失うことになります。売方は、市場価格が予想とは反対の方向に変化したときの損失が限定されていません。また、指数オプション取引は、市場価格が現実の指数に応じて変動しますので、その変動率は現実の指数に比べて大きくなる傾向があり、場合によっては大きな損失を被る危険性を有しています。
 - 未成年口座のお客さまは先物・オプション取引口座の開設は受付いたしておりません。
 - 「J-NETクロス取引」で取引所 立会市場の最良気配と同値でマッチングする場合、本サービスをご利用いただくお客さまには金銭的利益は生じないものの、SBI証券は委託手数料を機関投資家から受け取ります。
 - J-NETクロス取引の詳細は適宜修正される可能性がありますのでご注意ください。

金融商品取引法等に係る表示

本セミナーでは、セミナーでご紹介する商品等の勧誘を行うことがあります。これらの商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります（信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD（くりつく株365）では差し入れた保証金・証拠金（元本）を上回る損失が生じるおそれがあります）。商品毎に手数料等及びリスクは異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。

金融商品取引法等に係る表示

https://search.sbisec.co.jp/v2/popwin/info/home/pop6040_torihikihou.html

商号等:株式会社SBI証券（金融商品取引業者、商品先物取引業者）

登録番号:関東財務局長(金商)第44号

加入協会:日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本STO協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人日本暗号資産等取引業協会